

内部評価項目（令和6年度）

- 基本目標 確かな学力をはぐくみ、自ら課題を見つけ主体的によりよく
解決できる力の育成をめざします
- 基本目標 豊かな心をはぐくみ、健やかな身体と体力の増進に努める
たくましい人づくりをめざします
- 基本目標 安心・安全で、魅力ある教育環境づくりをめざします
- 基本目標 学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上
をめざします

【評価基準】 A:十分なされている B:概ねなされている C:あまりなされていない D:なされていない

基本 目標	項 目	評 価 内 容	令和6年度2学期(%)				令和6年度1学期(%)				86年度1学期との比較			
			A	B	C	D	A	B	C	D	A評価	C評価		
3	(1)組織的な 学校運営	1 校内研修会やOJTが計画的に実施されているか。	87%	13%			77%	23%			◎			
		2 自分の校務分掌について、計画・実施・反省を行い次回につなげたか。	53%	40%	7%		54%	46%						
		3 校務の効率化が図られているか。	47%	53%			23%	62%	15%		◎	C改善		
		4 保育所・小学校・中学校・高校等の連携がうまく図られているか。	40%	53%	7%		39%	62%						
1・2	(2)学習指導の 充実	5 ロードマップに沿った学力向上対策が実施できたか。	87%	13%			46%	54%			◎			
		6 ゴールの姿をイメージして、授業できたか。	60%	40%			67%	33%						
		7 朝自習や朝読書等の充実が図られたか。	80%	20%			75%	25%						
		8 学習規律や学習習慣についての指導ができたか。	53%	47%			67%	33%			△			
		9 家庭学習・家庭読書についての指導ができたか。	27%	73%			31%	69%						
		10 外国語活動の充実が図られたか。	53%	47%			23%	69%	8%		◎	C改善		
		11 道徳の授業の充実が図られたか。	67%	33%			31%	69%			◎			
		12 体力向上に向けた取組(スポチャレや業間の取組を含む)ができたか。	93%	7%			54%	39%	8%		◎	C改善		
		13 読書活動を推進し、読書量増加につなげることができたか。	60%	33%	7%		62%	31%	8%					
		14 一人一台タブレット端末を活用した授業(指導)ができたか。	80%	20%			69%	23%	8%		◎	C改善		
		15 生活目標に対して、具体的取組ができたか。	60%	33%	7%		46%	46%	8%		◎			
		16 特別支援教育で、児童生徒のニーズに応じた支援が図られたか。	73%	27%			54%	46%			◎			
		17 挨拶、ことばの違いについて指導できたか。	40%	60%			31%	69%						
		18 清掃指導ができたか。	40%	60%			31%	69%						
1・2	(3)生徒指導の 充実	19 食育を行い給食指導ができたか。	53%	47%			39%	62%			◎			
		20 「いじめ」について、予防・把握・指導ができたか。	73%	27%			50%	50%			◎			
		21 「不登校」について、予防・把握・指導ができたか。	60%	40%			62%	38%						
		22 児童理解について、共通理解が図られているか。	67%	33%			62%	38%						
		4	(4)家庭地域との 協働	23 家庭・地域への情報発信(新聞、学級だより、保健・給食だより、ホームページの更新)が行われているか。	80%	13%	7%		62%	38%			◎	
				24 教職員は、地域の行事等に積極的に参加し、地域からの意見を取り入れようと(受信)しているか。	60%	40%			46%	46%	8%			C改善
25 児童・生徒の学校行事、地域等への参加を家庭・地域に呼びかけているか。また、児童生徒は参加しているか。	67%			33%			39%	62%			◎			
3	(5)その他 (職員の服務態度)	26 教職員は、互いに協力しながら児童の指導をしているか。	100%				85%	15%			◎			
		27 教職員は、服装、髪等児童生徒の模範となっているか。	67%	33%			69%	31%						
		28 教職員は、危機管理に対する意識を持ち、有事に直ちに対応しているか。	93%	7%			85%	15%						
		29 教職員は、働き方を意識し、業務の効率化に取り組んでいる。	47%	53%			23%	54%	23%		◎	C改善		

A評価が4割程度を超えた項目	28	19
C・D評価があった項目	5	8

○今年度1学期より10%アップ ◎今年度1学期より10%アップし、4割超
△今年度1学期より10%ダウン ▲今年度1学期より10%ダウンし、4割なし

結果と考察

- ・A評価において、4割程度を超えている項目が29項目中28項目あった。
 - ・CやD評価において、改善が見られた項目が5項目あった。
 - ・1学期のC評価の8項目のうち、6項目で改善が見られた。
- 1学期と比較し、A評価の割合が高いことは評価できる。とくに「学習指導の充実」においてC評価の改善が多く見られた。
- 1学期から継続してC評価が残る「読書活動」「生活目標の取組」については、取組の更なる充実が求められる。。
- 「校務分掌」「保・小・中・高の連携」「家庭地域への情報発信」にC評価があることから、取組における改善点を検討し、3学期につなげていく。